

令和2年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	実務経験のある 教員による授業 科目	基礎・専門 別	単位数	選択・必修 別	開講年次・ 時期
52431	幼児と環境 Infants and the environment	太田美鈴	✓	専門	1	必修	1年後期

科目の概要

幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に示されるように保育は環境を通して行う。保育内容環境のねらいや内容を理解し、保育の全体的構造の位置づけを知る必要がある。また、幼児の発達過程に応じた環境構成は、保育者が意図をもって構成しなければならない。さらに、幼児の興味関心に合わせながら再構成する重要性を理解する。そのために、環境型の指導計画の作成、改善を通して、環境構成と再構成の方法を習得する。★幼稚園・保育所での保育者としての実務経験があり、保育者としての専門的知識や技術を授業の講義を通して理解に繋げていく。

学修内容	到達目標
①幼児理解に基づいた保育の構想の重要性を理解する ②幼児の特性を考慮した情報機器や教材の活用法を理解する ③具体的な保育内容を想定した指導計画の作成を理解する ④模擬保育の振り返りを通して、改善する視点を持つ ⑤環境の特性に応じた実践の動向を知る	①幼児理解に基づいた保育の構想ができる ②幼児の特性を考慮し、情報機器や教材を活用した保育ができる ③具体的な保育内容を想定し、指導計画を作成することができる ④模擬保育の振り返りを通して、改善する視点を持つことができる ⑤環境特性に応じた実践動向を知り、改善に取り組むことができる

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す 力	主体性	環境の構成を積極的に考えることができる
	働きかけ力	
	実行力	環境構成に対していろいろなジャンルから調べ構築に活用できる。
考え抜く 力	課題発見力	身近な環境から保育内容に関連付けてねらいや内容につなげることができる。
	計画力	
	創造力	環境のねらいと内容を自身の生活と経験と結びつけて考えることができる。
チームで働く 力	発信力	考えた環境や内容ねらいを他者に幼児を意識して、わかりやすく伝えることができる。
	傾聴力	相手の考えや、要点を理解して受け止め、自身との相違点も尊重することができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	授業は無断欠席、遅刻、私語など慎み、グループ活動に対して役割意識を持ち積極的に参加し円滑にできるようにする。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：前期のテキストを使用する。
参考文献：「幼稚園教育要領解説」の保育内容環境・「保育所保育指針解説書」の保育内容環境「幼保連携型認定こども園保育教育要領」の保育内容環境、体験する・調べる・考える領域「環境」（萌文書林）

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：保育内容総論、保育内容（健康）、保育内容（人間関係）、保育内容（表現）、保育内容（言葉）
資格との関連：幼稚園教諭2種・保育士資格

学修上の助言	受講生とのルール
自分を取り巻くものはすべて環境と理解し、保育者になろうとする自覚を持ち、生活経験を広めるよう努力すること。 身の回りにある伝統行事、家庭文化、生活習慣などに関心を持ち理解する。	テキストや指針や要領を必ず持参のこと 毎回演習を行うための準備を済ませ授業に臨むこと 授業以外でも自主的に観察や世話を進んで行う

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験		①				
			②				
			③				
			④				
			⑤				
	平常評価	小テスト	20	①	✓	・保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の環境について理解できている。10点 ・環境構成での大切なポイントを理解し内容、ねらいを考慮することができる。10点	
				②			
				③	✓		
				④			
				⑤			
		レポート			①		
					②		
					③		
					④		
					⑤		
成果発表 (プレゼンテーション・作品制作等)	70		①	✓	チームで協力し、意欲的に取り組みができる。5点 演習準備に不備がない。5点 演習作業に対し積極的に取り組み成果が結果として表れている。10点 実践するための指導案を作成することができねらいと内容との整合性がある。10点 自身の学びのポートフォリオの作成ができている。10点 自身の生活や経過と結びつけて考え、調べ、工夫して作成していることが見て取れる。10点 植物の生長を観察する力が育ち、保育実践に関連付けて考えている。10点 環境構成の重要性を理解し、教材研究に努力した指導計画が作成できる。10点(2枚)		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
学修行動	社会人基礎力(学修態度)	10	①	✓	(主体性) 環境に関心を持ち、積極的に授業に参加する。 (実行力) 畑や花壇の様子を気にかけて授業以外でも世話ができる。 (課題発見力) 保育の環境に興味を持ち、保育内容に結び付け考えることができる。 (創造力) 課題を実現できるように考え、保育実践に活かすことができる。 (発信力) 自分の考えをまとめ、相手に理解しやすく伝えることができる。 (傾聴力) 相手の考えを引き出し、要点をまとめることができる。 (規律性) 授業は無断欠席、遅刻、私語など慎み、グループ活動に対して役割意識を持ち積極的に参加し円滑にできる。 演習支度を授業開始前に済ませ授業開始を待てる。 受講態度(遅刻、欠席、学習意欲欠如)が見られる場合は原点対象である6回以上の欠席は放棄判定となる		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
総合評価 割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
環境の特性を理解し、保育の内容を意識して環境構成する力を持つ。また、チームで積極的に花壇作りに取り組み、植物の生育対する観察・考察を深め、保育者を意識した取組ができる。	作品、レポートなど課題に対しきちんと取り組み保育者を意識した取り組みができる。 総合評価し79~70はB(良), 69~60はC(可)とする。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	ガイダンス 人間の生活と環境	講義 人間にとって欠かせない環境についてグループワークする。また地球環境を考えることの必要性に気づく。	授業の目的、内容、進め方について理解し今後の学修方法を知る。 環境は人が生きていくうえで大切なものであることや幼児教育にとっての重要性を認識する。	(復習) プリントを読みこれからの授業内容を再確認し、今後の予定を立てる。	90	傾聴力 規律性
2週 /	子どもと園の環境	グループワーク まとめ、フィードバックする	子どもの発達と園の環境との関連性を見出し、園の環境や保育者としての役割の重要性をまとめることができる。	(予習) 園の環境について調べ学習をする。 (復習) 本日の授業を振り返りまとめる。	45 45	状況把握力 主体性
3週 /	子どもの発達と環境とのかかわり①	グループワーク 子どもの発達と環境とのつながりをまとめフィードバックする。	誕生から満3歳までの発達にとってふさわしい環境とは何か子どもの発達の歴史や特性、子どもの育ちを踏まえながら、環境の構成について考える。	(予習) 誕生から満3歳までの発達を調べておく (復習) 本日の授業を振り返りまとめる。	45 45	主体性 実行力 創造力
4週 /	子どもの発達と環境とのかかわり②	グループワーク 子どもの発達と環境とのつながりをまとめフィードバックする。	幼稚園教育要領・保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領における「環境」と年齢との関係性を整理する。	(予習) 指針や要領の保育内容環境の部分抜き出しておく。 (復習) 本日の授業を振り返りまとめる。	45 45	計画力 発信力 傾聴力
5週 /	幼児と楽しむ自然体験① 「見つけてみよう！探してみよう」	演習 保育内容環境とのつながりをフィードバックする	保育者は豊かな構想のもと、子どもたちの身近な環境を構成する役割を担うため五感を磨き自然環境に接するための工夫も欠かせないことを理解する。	(予習) 本日の課題を調べる。 (復習) 本日の授業を振り返りまとめる。	45 45	状況把握力 主体性
6週 /	幼児と楽しむ自然体験② 「フィールドビンゴ」	演習 保育内容環境とのつながりをフィードバックする	子どもの遊びのきっかけとなる環境構成を考えたり、遊びを持続させる環境についても考えたりする。	(予習) 本日の課題を調べる。 (復習) 本日の授業を振り返りまとめる。	45 45	主体性 実行力 計画力
7週 /	幼児と楽しむ自然体験③ 「自然を取り入れた遊びを考えよう」	演習 演習後保育内容環境とのつながりをフィードバックする	作業と関連づけ自然環境を生かした保育活動についてイメージする。人的環境と物的環境の重要な意味について学習する	(予習) 本日の課題を調べる。 (復習) 本日の授業を振り返りまとめる。	45 45	課題発見力 創造性
8週 /	教材研究① 「身近な素材を使って」	演習 課題を発表し合いグループで課題を整理する。	幼児が経験することは学校教育につながることを理解し、教材研究、内容の資質向上に取り組む必要性が分かる。	予習) 身近な素材を調べ保育内容としての活用を考える。 (復習) 本日の保育内容の指導計画を作成する。	45 45	主体性 創造力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	指導案検討	演習 指導案を発表し合い、より良い内容になるよう検討する。フィードバックする	自分で作成したものを発表し合い、より良い計画になるようにグループでまとめ完成することができる。	(予習) 指導計画を作成する。 (復習) 指導案を比較し振り返る。	45 45	主体性 課題発見力
10週 /	教材研究② 「行事を考えて」	演習 課題を発表し合いグループで取り上げるものを整理する。	日本の四季折々の文化を園生活に活用した活動にどう取り組み、保育内容として活用するのかを検討し合いまとめることができる。	(予習) 文化を調べ保育内容としての活用を考える。 (復習) 持ち寄った指導計画を検討する。	45 45	発信力 傾聴力 計画力
11週 /	行事計画案を作成	演習 指導案を発表し合い、より良い内容になるよう検討する。フィードバックする	日本の四季折々の文化を園生活に活用し、文化を残す活動として保育内容でどのように活用するのかを検討し合い、まとめ完成する。	(予習) 指導計画を作成する。 (復習) 指導案を比較し振り返る。	45 45	主体性 課題発見力
12週 /	環境構成と遊びの発展① 「保育室の環境構成を考えよう」	演習(グループ) フィードバック	年齢に合わせた環境構成を発表し合い、より良いものへと再編成するためのグループワークを行う。	(予習) 保育室の環境を考える (復習) 本日の授業を振り返りまとめる。	45 45	課題発見力 発信力 傾聴力
13週 /	環境構成と遊びの発展② 「保育室の環境構成をかんがえよう」	下書きをもとに検討、発表用に作成する。進捗状況を発表し合い、フィードバックする	下書きを生かし再編成しながら、さらに資料収集を行い発表する。	(予習) 保育室の環境を構成するために必要なものを調べておく。 (復習) 本日の授業を振り返りまとめる。	45 45	発信力 傾聴力 計画力
14週 /	環境構成と遊びの発展③ 「保育室の環境の発表」	演習 保育内容(環境)とのつながりをグループでまとめ、発表する。各グループ評価反省をフィードバックする	各グループ発表を行い、互いに質疑応答を行うことで、より良い環境構成に活かすようにする。	(予習) 本日の課題を調べる。 (復習) 本日の授業を振り返りまとめる。	45 45	発信力 傾聴力
15週 /	環境構成と保育者の役割について	講義 15回のまとめ	保育者は、率先して地域の人々と挨拶を交わすなど、日頃からかかわりを大切にすることや、小学校との連携も考えていくことを理解する。	(予習) 小学校への接続を考えた保育を考えた保育内容を編成する (復習) 本日の授業を振り返りまとめる。	90	傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力